

はじめに、この新型コロナウイルス感染症等対策ガイドライン（以下、ガイドライン）は長野県新型コロナウイルス感染症等対策条例案などを基に、新型コロナウイルス感染症等の発生予防および、まん延の防止を図り、県民の健康を保護し、長野県バスケットボール協会（以下、協会）、選手、チーム等が協力して安全なバスケットボール競技活動を実施することを目的として作成したものです。

1. 自己防護および健康管理

新型コロナウイルス感染症は「いつ・だれが・どこで」感染するか、また感染させてしまうのか分からない感染症です。そのため「自分が感染するかも知れない」「自分が感染させてしまうかも知れない」と一人一人が考えて行動しなければなりません。そのため以下の行動を推奨し、大会運営においては徹底致します。

(1) 以下の事項を感染拡大防止のための基本的対策とします。

- ① 手指衛生の励行
- ② 競技及びウォームアップ時以外、常時マスクの着用
- ③ ソーシャルディスタンスの確保
- ④ 「3密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避
- ⑤ 十分な換気（常時換気または1時間に2回以上かつ1回に5分以上の換気）
- ⑥ 禁煙の推奨
- ⑦ 毎日の健康と行動の記録の事前提出・必要に応じた事後提出
- ⑧ 体調不良（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常等）の場合、参加自粛
- ⑨ 大声での会話・応援の自粛
- ⑩ 接触確認アプリ（COCOA）の利用推奨
- ⑪ 大会期間中の不要不急な会食の自粛
- ⑫ 選手、関係者、観客等のゾーニング確保・エリアコントロールの徹底
- ⑬ 諸室・共用物品の消毒の徹底

(2) 参加者は、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせてください。

- ① 体調不良の場合（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常等）
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合

2. 大会への参加について

大会に参加される選手およびベンチに入る関係者は、大会当日から2週間前よりご自身の健康状態を毎日チェックしてください。大会に参加されるチームには新型コロナウイルス感染症対策による大会運営についてご同意いただいた上で参加の申込書を提出してください。選手および関係者の健康チェックシートおよび大会参加申込書は代表者会議で回収致します。当日に健康チェックシートが提出されない方のフロアへの立ち入りは禁止致します。健康チェックシートは、公益財団法人日本バスケットボール協会の健康チェックシート（参加チーム用、審判提出用）をダウンロードして使用してください（<http://www.japanbasketball.jp/news/55909>）。

当日は、各自マスクをお持ちいただくようお願い致します。チームごとにアルコール消毒やフェイスガードなどお持ちいただける様でしたら合わせてご協力ください。体育館入場時、ベンチでの観戦時にマスクを着用していただけない場合には退館をしていただきます。マスクの非着用と同様に大会運営の妨げとなるような行為をされる選手には退館をしていただくこともございます。悪質な状況の場合は該当試合を没収試合とし、該当チームを敗者とし、本大会における以降の試合の出場をお断り致します。予めご理解下さい。

- ① 健康チェックシート（選手・関係者）
- ② 大会参加申込書・同意書
- ③ マスク（選手・関係者）

※審判、TO および大会運営スタッフも選手と同様にご自身の健康状態を2週間前から確認し、当日に健康チェックシートをご提出下さい。ご提出いただけない場合にはフロアへの立ち入りを禁止致します。

3. 大会運営について

安全な大会運営が行えるよう以下の対応を考えております。選手、チームでもご協力をお願い致します。

- ① マスクの着用
- ② 手指消毒

※チームごとにアルコール消毒液（70%～95%）をお持ちいただくようご協力をお願い致します。

- ③ ソーシャルディスタンスの確保
- ④ 客席観戦は距離を確保し、大きな声での声援や会話は行わない
- ⑤ 更衣室利用の制限（大会開催時の状況により設定）
- ⑥ 十分な換気（常時換気または1時間に2回以上かつ1回に5分以上の換気）
- ⑦ マスク着用により、(1)喉の渇きが感じにくい、(2)呼吸がしにくい、(3)熱の放散を妨げるという理由から熱中症になるリスクもあるため、試合出場の有無に関わらずこまめな水分補給を心がける

※審判およびTOはフェイスガードもしくはマスクを使用するため、コールなどでは通常とは異なり聞こえにくいこともある可能性があります。予めご理解ください。

4. 試合の進行について

試合の進行は各大会により大会運営者の判断、状況により異なりますが、協会としては以下の進行を推奨し、選手をはじめとする皆さんの健康と安全確保されるように運営を致します。

- ① 試合は10分のピリオドを4回行い、前半と後半の間にハーフタイムを設ける
※試合時間は通常通りで4ピリオド終了後に同点の場合は延長を実施する
- ② ハーフタイムは館内の換気の実施や多人数の接触機会を控えるため、次試合選手のウォーミングアップはおこなわない
- ③ ハーフタイム終了3分前から試合中の選手は自チームベンチ側のゴールでアップを実施
- ④ ベンチにいる選手およびチーム関係者はマスクを着用
- ⑤ タイムアウトや休憩時にベンチで選手が密集しないようにする
- ⑥ ハイタッチや抱き合うことなどプレイ以外で選手同士の接触の機会を避ける
- ⑦ 試合終了後には選手、関係者、運営スタッフ全員でイス、テーブル、床の清掃・消毒を行う
- ⑧ 試合と試合の間隔を40分間確保し、次試合チームは試合後の清掃が終了次第、アップ開始
※自チームベンチ側ゴールを使用（ハーフタイムのアップも自チームベンチ側）
※他チームや他選手との接触機会を極力少なくする

5. 大会の参加可否判断

(1) 大会開催前

① 感染者への対応

PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、感染者及び濃厚接触者は参加を辞退、または、派遣を取り消させていただきます。

感染者の療養解除基準

有症状者：①発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合

②症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査で陰性を確認できた場合

無症状者：検体採取日から7日間経過した場合には、8日目に療養解除

療養解除後は、ケガや血栓症や心臓へのリスクもあるので、段階的に復帰してください。

② 濃厚接触者への対応

検査陽性者の濃厚接触者の待機期間については、原則として最終暴露日（陽性者との接触等）から7日間（8日目解除）とします。

③ 体調不良者の対応

大会開催日4日前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、原則当該選手は参加を辞退していただきます。体調不良者は発症から数えて2日および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

(2) 大会開催期間中

- ① 体調不良者である選手・監督（チームスタッフを含む）及びその本人が所属するチームについては参加することはできない。
- ② 実行委員会に所属する者、選手団に所属する者（(1)の者を除く）、競技会運営者及び競技会場内で業務に従事する者の体調不良者個人については参加することはできない

6. 大会終了後に感染症が発生した・感染が疑わしい場合の対応

大会終了後、7日以内に選手またはチーム関係者に次の症状が出た場合、所轄の保健所へご連絡いただき指示を仰いでください。合わせて協会へも必ずご連絡下さい。

- ① 検査による陽性反応が出た場合
- ② 濃厚接触者指定を受けた、または疑わしい場合
- ③ 体調不良が3日間続いた場合（特に体温37.5℃以上、咳、呼吸困難、全身倦怠感、鼻づまり、のどの痛み、下痢など）

7. その他

大会開催前および当日の情勢や状況により、予定が変更となる可能性もありますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

文責：スポーツ医科学委員会
改訂 第3版 令和4年6月23日